

# ニッポンの写実 そっくりの 魔力

Realism Art in Japan

何かにそっくりなものを目にしたとき、私たちは「すごい！これ、本物？」と、素朴なおどろきをおぼえます。本物とみまがうばかりの表現は、古今東西を問わず人々を惹きつけ、作家たちは追真的な表現を追求してきました。

写真をはじめとするテクノロジーの発達によって、誰もが手軽に目の前のものを写し取ることができるようになった現代においても、本物そっくりに表現するという課題は解決したわけではありません。多種多様な表現で作られされた本物「そっくり」な作品には、対象の本質に迫ろうとする作り手の意識と、見るものを「そっくり」だと驚かせる、創造という行為の根源的なテーマが存在しています。

本展では、「本物そっくり」な表現に注目し、明治期の西洋画に刺激を受けた近代洋画から大正リアリズム、フォトリアリズムをへて現代へといたる写実的絵画、近年超絶技巧として注目を集める精緻な工芸や彫刻作品、そして映像作品などを含む多種多様な約80点の作品を通じて、私たちを魅了する「そっくり」のイメージの本質に迫ります。



1



2



3



4



5



6



7

【関連事業】 ※詳しくは美術館までお問い合わせください。

※記念対談 「“そっくり”で読み解く写実の魅力」

講師：丸地 加奈子氏(豊橋市美術館主任学芸員)  
12月3日(日) 14時から15時30分 レクチャールーム  
定員80名(要観覧券 12時30分開場・先着順)

※講演会 「新写実憧憬」

講師：南城 守氏(前奈良県立美術館学芸課長・現絹谷幸二天空美術館顧問)  
12月10日(日) 14時から15時30分 レクチャールーム  
定員80名(要観覧券 12時30分開場・先着順)

※講座 「そっくりの魔力」 講師：深谷 聡(当館主任学芸員)

1月7日(日) 14時から15時30分 レクチャールーム  
定員80名(要観覧券 12時30分開場・先着順)

※学芸員によるギャラリートーク

12月16日(土)、12月23日(土・祝)、1月13日(土)  
14時から15時頃まで 展示室 (要観覧券)

※ミュージアム・コンサート レクチャールームなど

※ワークショップ 「そっくり工作に挑戦！」

1階無料休憩室にて 会期中随時・参加費無料

同時開催 明日香村連携展示 当館ギャラリー 観覧無料  
「明日香まるごと博物館 ー全域に文化財が眠る村とその魅力ー」

約1400年前に都が置かれた明日香村とその魅力を現地を感じていただくための古代と現代が融合した村の取り組みを紹介します。

【連携イベント】

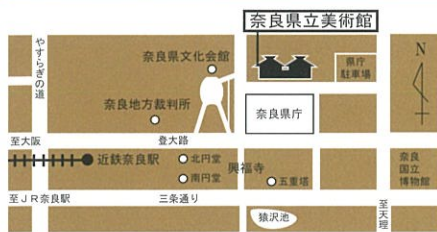
12月2日(土)・3日(日) 海獣葡萄鏡づくり(各日先着50名)

12月16日(土) 講演会「明日香まるごと博物館ー文化財と生きる村ー」 講師：森川裕一氏(明日香村長)

1月6日(土) 講演会「発掘調査から見た日本国創成のとき」 講師：西光慎治氏(明日香村教育委員会)

※詳しくは同連携展示のチラシをご覧ください。

- 1 横山松三郎《菊》 制作年不詳 函館市蔵(北海道立函館美術館寄託)
- 2 高橋由一《厨房具》 1878-79(明治11-12)年 愛知県美術館蔵
- 3 磯江 毅《マルメロ》 2004-05(平成16-17)年 個人蔵
- 4 水野正一《少女》 1920(大正9)年頃 豊橋市美術館蔵
- 5 安藤緑山《牙彫 竹の子、豌豆、独活》 大正時代 清水三年坂美術館蔵
- 6 三宅一樹《平八の石に就て》 2010(平成22)年 個人蔵
- 7 岡田修二《水辺2》 2011(平成23)年 作家蔵



奈良県立美術館  
Nara Prefectural Museum of Art

〒630-8213 奈良市登大路町 10-6  
TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032  
テレホンサービス 0742-23-1700

[ホームページ] <http://www.pref.nara.jp/11842.htm>  
[Facebook] <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

奈良県立美術館ファンクラブ  
メール会員募集中！

詳しくは美術館HPまで



次回展覧会予告 伝統工芸企画展「世界に魅せる赤膚焼・奈良一刀彫り・奈良漆器・・・美の輝き」(仮称) 平成30年1月27日(土)～3月25日(日)